育　成　会　かわさき

№１６９

知的障害者親の会　　会報

発行
社会福祉法人ともかわさき
川崎市育成会手をむすぶ親の会
発行責任者　池谷　英子

発行日
平成２５年５月１日

編集　社会福祉法人ともかわさき
川崎市育成会手をむすぶ親の会
〒213-0011　川崎市高津区久本 3-6-22　地域福祉施設「ちどり」１階
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216

新会長のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長　池谷　英子

目に緑がまぶしい季節となりましたが、会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと存じます。

この度、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」の会長となりました池谷英子です。未熟ではございますが、皆様のお力をお借りして、会を運営して参りたいと思っております。

さて、前並木理事長が懸命に頑張ってくださいましたが、財政問題などいろいろな事情が重なり、平成２５年３月３１日をもって「地福協」を一旦解散し、平成２５年４月１日より社会福祉法人ともかわさきとの統合という道を、私たちは選択いたしました。

新生・社会福祉法人ともかわさきは事業体と運動体を傘下に持つ組織となり、運動体である私たち親の会は「川崎市育成会手をむすぶ親の会」と名称が変わりました。

ただ、少し組織に変更があります。親の会活動は今まで通り継続しますが、これまで以上に、自分たちのことは自分たちで行うという行動力が発揮できる組織体制になりました。

とはいうものの、これまで同様、皆様からの会費、行政からの補助金などを基に、身の丈に合った活動をして参ります。当初は何かと戸惑うかと思いますが、皆様方のご協力を得ながら一歩一歩共生社会の実現に資していきたいと思います。

年齢や障害の違いはありますが、このような時こそ、私たち親の会が力を合わせて、行政ともしっかり連携を取り、障害のある子どもたちが安心して暮らせる地域づくりに取り組んで参りましょう。

会員の皆様と共に、今まで以上に組織を固め、新しい局面への対応ができるように頑張ります。

最後になりましたが、これまで８年の長きにわたり親の会を牽引していただいた前並木理事長に深く感謝申し上げます。

新しい名称は、　川崎市育成会手をむすぶ親の会　**です。**

今後とも、よろしくお願いいたします。

平成２５年度川崎市心身障害児者福祉大会

日　時　平成２５年６月２９日（土）１３時００分開始
（受付１２時３０分～）

新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥にてお過ごしのことと存じます。
さて、上記の日程で、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」、「川崎市自閉症協会」、「川崎市肢体不自由児(者)父母の会連合会」の３団体で主催する「川崎市心身障害児者福祉大会」を関係者及び行政、特に阿部市長などをお招きして開催したいと思います。
また、当日は、「川崎市育成会手をむすぶ親の会　第１回総会」も開催いたします。
変更の多い福祉制度の今だからこそ、親の会活動をますます活発にする必要があるのではないでしょうか。大勢の皆様の参加のほど、よろしくお願い申しあげます。

《第１部》　式典：１３時００分～
講演会
《第２部》　川崎市育成会手をむすぶ親の会　第１回総会

皆様のご参加をお待ちしております

【会場】
川崎市総合自治会館
１階　ホール
川崎市中原区小杉町３－１
℡０４４-７３３-１２３２

※駐車場が狭いため、公共の交通機関をご利用ください。

平成２５年度　川崎市育成会手をむすぶ親の会　役員の紹介

役職名	氏　　名	住　　所	電話番号
会　長	池谷　英子	多摩区枡形	９３４－１９４１
副会長	結城　眞知子	川崎区藤崎	２９９－３０８９
副会長	宮澤　明	宮前区五所塚	９３３－４０１３
会　計	山田　勝子	高津区末長	８１１－９２２１
相談役	並木　隆	川崎区四谷上町	２９９－１２９０

よろしくお願いします！！

前列　左から　宮澤副会長、池谷会長、結城副会長
後列　左から　山田会計担当、並木相談役

平成２５年度　川崎市育成会手をむすぶ親の会　支部代表者の紹介

支 部 名	氏　　名	住　　所	電話番号
中央支部	飯塚　弘子	川崎区京町	３３３－５８４０
大師支部	近藤　節子	川崎区川中島	２８８－５０２３
田島支部	中村　惠美子	川崎区浅田	３３３－９９２９
幸支部	角田　三津子	幸区下平間	５２２－３１２８
中原支部	吉野　明美	中原区市ノ坪	４３３－７３０３
高津支部	太田　理佐	高津区新作	８７７－２１３４
宮前支部	梅田　順子	宮前区初山	９７５－７０７４
多摩支部	美和　とよみ	多摩区宿河原	９２２－３０１５
麻生支部	宮本　善夫	麻生区高石	９６６－０７８８
田島養護学校	高岡　ゆかり	川崎区桜本	２７７－７１９１

＊ 市立養護学校は、調整中です。

平成２５年度　川崎市育成会手をむすぶ親の会　委員会及び委員の紹介

	運営委員会 (総務委員会)	余暇活動 委員会	研修事業 推進委員会	広報 委員会	権利擁護 委員会
中央支部	飯塚	○飯塚	岡本・(折田)		
大師支部	近藤	近藤	渡部		並木・(結城)
田島支部	中村	安達・(山本)	中村(惠)	安達	
幸支部	角田	◎角田	◎高井	仁尾・高山	◎仁尾・○加賀見
中原支部	吉野	○吉野	菅井	吉野	菅井・池田
高津支部	太田	山田	○太田	○三浦	三浦
宮前支部	梅田	岩見	梅田	梅田	川田
多摩支部	美和	千葉	美和・(木村)	◎美和	○美和・中村(多)
麻生支部	宮本	黒瀬	○黒瀬	宮本	宮本
田島養護学校	高岡				

◎委員長　○副委員長

＊市立養護学校は、調整中です。

今年度から、新しい組織になりました。皆で力を合わせて、がんばっていきましょう。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

川崎市関係主要職員の紹介（平成２５年４月１日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	伊藤　　弘
障害保健福祉部長	萩原　利昌
障害保健福祉部担当部長 （施設再編整備担当）	左近　志保
障害計画課長	川島　伸一
障害福祉課長	杉浦　のぞみ
精神保健課長	齋藤　　俊啓

【市民・こども局】

こども本部長	岡本　隆
こども支援部長	小池　義教
こども福祉課長	野上　昭雄

※市民・こども局長はこども関係の事業は所管しないため載せませんでした。

各区・地区ステーション　障害者支援担当の連絡先について

管区	電話番号
川崎	201-3215
大師	271-0162
田島	322-1984
幸	556-6654
中原	744-3265
高津	861-3252
宮前	856-3304
多摩	935-3323
麻生	965-5159

【担当】

・区役所
　高齢・障害課障害者支援係

・大師、田島
　地区健康福祉ステーション高齢・障害係

平成２４年度特別支援学校等卒業生の進路状況

１　卒業生の状況

	川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	合計
市立養護学校				5	15	15	6	4	4	49
市立田島養護学校	9	8	5	3						25
県立鶴見養護学校				1	1		1			3
県立中原養護学校		2	1	7	12	5	5			32
県立高津養護学校						7	9	14	3	33
県立麻生養護学校						1	10	7	11	29
市外特別支援学校	1	1	2	1	1	1	2		3	12
その他の学校		1	1	3	1	3	9	3	1	22
合計	10	12	9	20	30	32	42	28	22	205

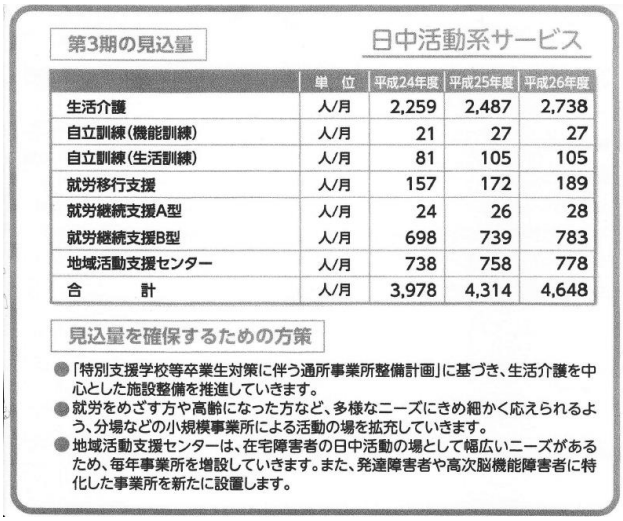
２　近年の特別支援学校等卒業生進路先

		22年度	23年度	24年度		
日中活動	就労移行	16	26	24	12	%
	就労継続	12	32	28	14	%
	生活介護	52	68	66	32	%
	自立訓練	1	0	4	2	%
	旧法	6	0	0	0	%
	地活	7	9	7	3	%
	重心通園	0	0	0	0	%
	計	94	135	129	63	%
入　所		4	6	2	1	%
就　労		40	31	55	27	%
職業訓練		8	4	4	2	%
進　学		10	8	7	3	%
その他		12	14	8	4	%
合　計		168	198	205	100	%

「川崎市における障害者福祉施設の整備状況について」

開催日時：平成２５年１月３０日（水）１０時から１２時
開催場所：大山街道ふるさと館イベントホール
講　　師：川崎市健康福祉局　萩原利昌氏

第３次かわさきノーマライゼーションプラン改定版をベースに、平成２４～２６年度の新たなサービスに関して説明を頂いた中から主な事項を報告します。



第3期の見込量　日中活動系サービス

	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
生活介護	人/月	2,259	2,487	2,738
自立訓練（機能訓練）	人/月	21	27	27
自立訓練（生活訓練）	人/月	81	105	105
就労移行支援	人/月	157	172	189
就労継続支援A型	人/月	24	26	28
就労継続支援B型	人/月	698	739	783
地域活動支援センター	人/月	738	758	778
合　　計	人/月	3,978	4,314	4,648

見込量を確保するための方策

- 「特別支援学校等卒業生対策に伴う通所事業所整備計画」に基づき、生活介護を中心とした施設整備を推進していきます。
- 就労をめざす方や高齢になった方など、多様なニーズにきめ細かく応えられるよう、分場などの小規模事業所による活動の場を拡充していきます。
- 地域活動支援センターは、在宅障害者の日中活動の場として幅広いニーズがあるため、毎年事業所を増設していきます。また、発達障害者や高次脳機能障害者に特化した事業所を新たに設置します。

第3期の見込量　居住系サービス

	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
グループホーム／ケアホーム	人/月	901	981	1,061
施設入所支援	人/月	551	563	563
自立訓練（宿泊型）	人/月	30	40	40
合　　計	人/月	1,482	1,584	1,664

見込量を確保するための方策

- バリアフリー住宅等の整備費の補助や市独自の報酬加算などを行い、グループホーム・ケアホームの拡充を図ります。
- 平成25年度に井田重度障害者等生活施設を開設し、施設入所支援50人分、及び自立訓練（宿泊型）20人分を確保します。

第3期の見込量　その他のサービス

	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
短期入所	人日/月	1,460	1,825	1,825
計画相談支援	人/月	538	1,076	1,614

見込量を確保するための方策

- 平成25年度に井田重度障害者等生活施設を開設し、短期入所の定員を現在より15人分増やします。
- 計画相談支援については、3年間かけて対象者をサービス利用者全員に拡大します。

（第３次かわさきノーマライゼーションプラン改定版より）

通所新施設計画…総数４６０人受け入れ構想
①麻生区…２５年度開設　定員５０人
②多摩区…２５年度建設開始　定員５０人
③川崎区…田島養護学校の隣地に８０人規模の施設計画
④幸区……８０人規模
⑤その他３区…２００人

（宮本　善夫）

「介護者に向けた医療について」

～介護する人　受ける人　知っておきたい安心介護～

開催日時：平成２５年３月１日（金）１０時から１２時
開催場所：ホテルＫＳＰ　７階　会議室
講　　師：ソレイユ施設長　江川　文誠氏

以前、医療的ケアの必要な障害児者は、退院の喜びもつかの間、医療的支援の少なさから、自宅や通所施設などでの医療的ケアに、本人も家族も施設職員も大きな負担や不安を感じる状況に置かれていました。しかし、平成１２年から介護保険が始まったことや、平成１８年の自立支援法の施行による医療的ケアの支援拡充から、制度を利用して生活できる形が広がってきています。

講演では、医療的ニーズと介護的ニーズを併せ持つ中重度者のための通所介護施設の紹介や、医療法人がケアホームの運営をしているケースと地域の訪問診療医の往診を受けてケアホームを運営しているケースの紹介があり、まだまだ十分ではないものの、地域における医療的ケアの支援体制が少しずつ前進しているように感じました。

研修会の最後に、厚労省に掛け合いハワイ旅行に行ったケアホームの方々の話を伺い、親の思いを具現化することを前向きに考えていきたいと思いました。　（吉野　明美）

春の宿泊レクリエーション報告

「地福協」としての最後のバスツアーとなった今年は、長野善光寺をはじめ小布施、岩松院の見学となりました。

初日は、小布施の栗菓子、北斎の作品を舌と目で堪能し、夜の宴会ではカラオケの後、踊りで親睦を深めました。

２日目は、ホテルを出るときの大雪の影響を受けることなく、善光寺で回向柱に触れ、功徳を祈念したあと、本堂に入り、お戒壇めぐりを経験しました。

今回は、寒い方角へのバスツアーでしたが、スケジュールがゆったりとしていたので、本場長野のおいしいお蕎麦を食べ、美湯に入り、先輩のお母様達ともたくさんお喋りができ、とても楽しく思い出に残るバスツアーとなりました。

これからも、バスツアーが継続されることを期待しています。

（吉野　明美）

「川信ふれあい市場」のお知らせ

開催日時　平成２５年５月１７日（金）
開催場所　川崎信用金庫本店ロビー及びふれあい広場

～　素敵な製品に巡り合える機会です。
ぜひ、足を運んでください。～

「海水浴の集い（海水訓練）」のお知らせ

実施日　　平成２５年７月２４日（水）
場　所　　勝浦　ホテル三日月（千葉県勝浦市）

＊詳しいことは、後日、配布されるチラシをご覧ください。
皆様のご参加をお待ちしております。

第７回地福協ふれあい製品アゼリア展示即売会

平成２５年２月２８日(木)川崎アゼリア・サンライト広場にて、市内２９の福祉施設が参加した「第７回地福協ふれあい製品展示即売会」が開催されました。

明るい会場には、菓子パン・クッキー・ケーキ各種やビーズなどを使ったアクセサリー、バッグ・袋物・エプロンなど、一つ一つ心を込めて作られた製品が所狭しと、並べられていました。足を止めて見ている人、説明を聞いて関心を示され言葉をかわされている人。そこには、ふれあいの中でのたくさんの笑顔や「ありがとう」がありました。私も、すてきな笑顔と一緒に「ありがとうございました」の言葉をいただきました。

みなさまも、足を運んで見てください。

（三浦　ルイ子）

・・・・＊・・・・＊・・・・・＊・・・・・＊・・・・・＊・・・・・＊・・・・・＊

ある会員のつぶやきその１

作業所とグループホームで暮らしていたＳさんは、いま老人ホームですごしています。

身近な方の事例をみるにつけ、障害者専用のグループホームの建設を望みます。親亡き後の人生は深刻です。

地福協と社会福祉法人ともかわさきと統合しましたが、「親の会」に絞って、先輩の皆さんががんばって来られた、さまざまな要求を実現するような「親の会」をのぞみます。そのためには、もっと会員同士で仲良くなって、なんでも相談したり、悩みを語り合える場を提供してほしいと思います。まずは行政区ごとでも、始めたら如何でしょうか。

硬いことはぬきに、お茶会のような気軽な場がよいのでは。

ある会員のつぶやきその２

先日、井田の障害者支援施設「桜の風」の内覧会に参加しました。入所施設の開所ということで訪れる人がとても多く、期待と関心の強さが伺えました。

施設職員から、この施設は地域移行をめざす支援を行う通過型の施設という説明を受けました。「桜の風」で体験して地域に住まえるようになれるなら、子どもたちの将来の選択肢が広がることになり、喜ばしいことです。しかし、現実的には、希望してもなかなか入れない状況から、入所施設を「終の棲家」ととらえる家族がほとんどだと思います。通過型を掲げる施設が機能するためには、私たち利用者側の意識改革と、移行先の受け皿の確保が重要なポイントかな…と感じました。そんなこともふまえて、これからの「桜の風」の動向を注目していきたいと思います。

「障害者相談支援センター」についての説明会（報告）

平成２５年３月１８日（月）に開催された「障害者相談支援センターについての説明会」での質疑応答の抜粋をお知らせいたします。

Ｑ１．インターネットでの相談受け付けは、どのようになっていますか。
Ａ１．今後、考えていきたいと思います。

Ｑ２．住所のある区と違う区のグループホームを使っています。ケアマネージメント契約はどうなりますか。
Ａ２．住所のある区の相談センターを使って、契約をすることになります。

Ｑ３．住所と違う区の生活支援センターを使っています。自分で変更手続きをとってもよいでしょうか。
Ａ３．生活支援センターから利用者に連絡が行きますので、それまで待っていてください。本人との話し合いも踏まえた上で、変更していきます。

Ｑ４．新しい相談員が、様々な障害特性に対応できるのでしょうか。また、研修やフォローもお願いしたいです。
Ａ４．すぐ全てに対応できるとは思いませんが、更生相談所からのスーパーバイズを受けたり、他機関と連携を取ったり、本人と話し合いをしたりして、研修やフォローをしていきたいです。

Ｑ５．相談支援センターを利用したいときに、予約は必要ですか。
Ａ５．直接、行ってもかまいませんが、電話で予約をした方が確実だと思います。また、これからは、相談員が家庭や職場を訪問しての相談もできます。

Ｑ６．相談員が変わることに不安を感じますが。
Ａ６．前任者と後任者と本人とで、何回も話し合いを重ねて引き継ぎをしていきます。また、一から説明しないとならないこともあるかもしれません。

Ｑ７．現在、利用している生活支援センターがなくなるので不安です。
Ａ７．よく話し合ってから、新しい事業所に移ってもらうように考えています。

川崎市としては、本人や家族の気持ちをよく聞いたうえで、相談支援センターへの移行を考えているということでした。

誰もが気兼ねなく活用できる「障害者相談支援センター」になって欲しいですね。

（仁尾　智都子）

障害者相談支援センター一覧

※名称・電話番号・所在地は平成25年4月1日時点のもの

区	名称	電話	FAX	郵便番号	所在地	法人
川崎	かわさき基幹相談支援センター	222-8281	589-5620	210-0834	川崎区大島1-4-8　ｲｰｽﾄﾌﾞﾙｰ1階	(福)川崎聖風福祉会
	地域相談支援センターふじみ	233-9949	246-0941	210-0834	川崎区大島1-8-6	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターいっしょ	201-6952	201-6952	210-0848	川崎区京町1-16-26-101	(福)あおぞら共生会
	地域相談支援センターかわさきLife	589-5188	589-5188	210-0847	川崎区浅田3-8-4	(NPO)KAWASAKI精神保健福祉事業団
幸	さいわい基幹相談支援センター	589-5183	589-5184	212-0052	幸区古市場2-91　ｳﾞｪﾙﾃﾞｨ川崎	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターラルゴ	589-5472	589-5473	212-0055	幸区南加瀬2-28-28　萬家ビル102	(福)ともかわさき
	地域相談支援センターりぼん	580-3080	580-6267	212-0057	幸区北加瀬1-31-5　ｻﾎﾟｰﾄさいわい2階	(福)長尾福祉会
	地域相談支援センターあんさんぶる	223-8290	223-8290	212-0004	幸区小向西町4-61-101	(福)幸ヒューマンネットワーク
中原	なかはら基幹相談支援センター	299-9838	299-9839	211-0065	中原区今井仲町264番地	(福)育桜福祉会
	障害者生活支援センターようこう	750-3136	750-3138	211-0035	中原区井田3-16-1	(福)育桜福祉会
	もとすみ地域相談支援センター	863-6251	863-6251	211-0025	中原区木月2-18-6　ﾒｿﾞﾝ住吉203号室	(福)川崎聖風福祉会
	地域相談支援センターすまいる	201-1280	201-1280	211-0015	中原区北谷町12番地　ｸﾞﾚｰｽﾋﾟｱヤワタ102号	(財)川崎市身体障害者協会
高津	たかつ基幹相談支援センター	543-9812	543-9813	213-0001	高津区溝口3-13-5	(福)育桜福祉会
	くさぶえ地域相談支援センター	863-9744	853-6901	213-0013	高津区末長1289	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターゆきやなぎ	819-5812	819-5813	213-0002	高津区二子2-18-10　ｸﾞﾛｰﾋﾞﾙ高津101号室	(福)セイワ
	地域相談支援センターいまここ	819-4304	819-4304	213-0002	高津区二子6-3-3　ｸﾞﾗﾝﾄﾞｰﾙ栄A-202	(NPO)ピアたちばな
宮前	みやまえ基幹相談支援センター	750-0581	750-0582	216-0033	宮前区宮崎2-6-11　宮崎台ﾊﾞｰｽﾋﾞﾚｯｼﾞ	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターポポラス	870-5236	870-5237	216-0033	宮前区宮崎2-13-35　ﾓｱ・宮崎101	(福)みのり会
	地域相談支援センターれもん	740-9043	740-9143	216-0031	宮前区神木本町5-1-4　ｴｽﾍﾟﾗﾝｻ宮前203	(福)長尾福祉会
	地域相談支援センターシリウス	920-9105	920-9106	216-0004	宮前区鷺沼1-2-1　安藤マンション403	(福)アピエ
多摩	たま基幹相談支援センター	819-5788	819-5789	214-0014	多摩区登戸495-3　ｱﾐﾆﾃｨ・ﾐｼﾏ第5ﾋﾞﾙ	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターいろはにこんぺいとう	299-7727	933-5559	214-0038	多摩区生田7-9-1　生田第2ﾋﾞﾙ2階	(福)なごみ福祉会
	地域相談支援センタードルチェ	819-4510	819-4511	214-0012	多摩区中野島2-6-7　豊栄レジデンス103	(福)ともかわさき
	地域相談支援センターアベク	948-9890	948-9892	214-0036	多摩区南生田4-11-1	(福)弥生会
麻生	あさお基幹相談支援センター	299-8895	299-8896	215-0004	麻生区万福寺2-4-7　才沢第2ﾋﾞﾙ102	(福)セイワ
	地域相談支援センター柿生	987-1794	987-1510	215-0025	麻生区五力田2-20-10	(福)川崎市社会福祉事業団
	地域相談支援センターひまわり	281-9175	966-2612	215-0011	麻生区百合丘2-8-2　北部ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ2階	(NPO)たま・あさお精神保健福祉をすすめる会
	地域相談支援センターそれいゆ	969-7447	954-5581	215-0001	麻生区細山1203	(福)三篠会

～もう一度選挙に行きたい！を実現しよう～

成年後見制度選挙権回復の裁判について

かわさき障がい者権利擁護センター運営委員　太田公子

平成２５年３月１４日　念願の選挙権回復の『勝訴』判決が出ました。

成年後見制度を利用して後見人をつけると、公職選挙法１１条１項１条の定めにより、被後見人となった高齢者・障がい者は選挙権がなくなります。

今回の判決では、被後見人の選挙権を剥奪することは、憲法違反であるとされました。

私たち、かわさき障がい者権利擁護センターに関わる者数人は、全国組織の全日本手をつなぐ育成会などとの関連から、一昨年春より裁判を傍聴するようになり、判決まで見守ってきました。

この件に関わる裁判は、全国４カ所（東京・さいたま・札幌・京都）で争われており、私たちは、平成２３年５月１１日から平成２５年３月１４日の間に９回開かれた裁判の傍聴を東京地方裁判所でしました。毎回傍聴席を満杯にして、障がい者が改定を求めていることを伝えたいと、スタッフが多くの関係者や関心のある方々に声かけをした成果か、傍聴券をもらえない人が出るほどでした。かくいう私も、はじめて行った時に貰えなかった１人でした。

裁判は、毎回、裁判長が、原告・被告（国）、それぞれに、簡単な質問をし，次の回までに揃えてくる書類を確認することなどで終ってしまいます。裁判の後、霞が関（裁判所のある）近くの会議室をスタッフが用意してくれて、裁判の内容を説明してくれたので、助かりました。この説明会が無かったら、私たちには解らないことだらけでした。

約２年間の感想は、定塚誠裁判長にきっぱりとした判決を出して頂けたことに関われてよかったということです。

残念ながら、被告の国は、控訴したため、この後、高等裁判所、最高裁判所へと続いていきます。

しかし、公職選挙法を変えるのは、立法府である国会です。

皆さんも、声を挙げて、訴えて行きましょう。

「成年後見制度選挙権を考える会」のホームページにアクセスして下さい。

親亡きあとの子どもたちの為に、頑張りましょう。

「あんしんノート」書き方講習会（報告）

平成２５年２月２５日（月）に、第４回の書き方講習会を開催しました。８人の参加があり、成年後見制度について話が盛り上がりました。

「あんしんノート」書き方講習会のお知らせ

平成25年5月27日（月）10:30～12:00

地域福祉施設「ちどり」1階会議室　鉛筆、消しゴムをお持ちください。

障害のある本人はもちろん、家族も、これまでを振り返り、これからを見つめる良いきっかけになります。皆様のご参加をお待ちしています。

また、出張書き方講習会も実施しております。関心がある方は、広報委員までお知らせください。よろしくお願いいたします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会　活動報告

《平成２５年４月１日～平成２５年４月３０日まで》

４月	１日（月）	第１回役員会	地域福祉施設「ちどり」
	４日（木）	第１回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
	８日（月）	第１回親の会連絡会	地域福祉施設「ちどり」
		（川崎市育成会手をむすぶ親の会・川崎市自閉症協会・川崎市肢体不自由児（者）父母の会連合会）	
	９日（火）	第１回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
	１２日（金）	第１回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
	１６日（火）	第１回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
	１９日（金）	第１回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
	２６日（金）	第２回役員会	地域福祉施設「ちどり」

ＮＰＯ法人　かわさき障がい者権利擁護センター

４月１２日（金）	第９回理事会	地域福祉施設「ちどり」
２６日（金）	第５回社員総会	地域福祉施設「ちどり」

賛助会費、ご寄附誠にありがとうございました。

（順不同・敬称略）

佐藤	アツ子	川崎区池上新町	2,000 円	雫	広隆	宮前区野川	5,000 円
高井	美惠子	幸区南加瀬	6,400 円	池谷	英子	多摩区枡形	10,000 円
伊藤	節子	多摩区登戸	3,000 円	吉田	弘子	多摩区登戸	3,000 円
井上	輝代	多摩区登戸	2,000 円	池田	京子	多摩区登戸新町	1,000 円
中嶋	りつ子	高津区千年	2,000 円	山田	壮一	高津区末長	5,000 円

私たちの広場

料理教室開催

開催日時　　平成２５年２月１０日（日）　１０時から１３時
開催場所　　てくのかわさき調理実習室
講　　師　　神奈川県栄養士会川崎支部　支部長　濱田　由美子氏　他３名

《料理教室のメニュー》
①　手巻きずし
②　具だくさんみそ汁
③　フルーツ白玉

ちょっと、緊張したけれど、
楽しく、おいしい料理を作ることができました。

生活サポート総合補償制度のご案内

知的障害児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度　会費（年間）17,000円

普通傷害保険（知的障害者等福祉団体傷害保険特約、国外の賠償責任不担保特約、天災危険担保特約付帯）　AX-107-2007

病気やケガで入院したときの補償

被保険者が病気またはケガにより、保険期間中に開始した入院が３日を超えた場合に、次の保険金が支払われます。

- ●付添介護保険金　1日　8,000円
- ●差額ベット費用　1日　3,000円
- ●入院諸費用　入院1日　1,000円
- ●入院一時金　1入院　5,000円

ケガをしたときの補償

被保険者が偶然の事故により保険期間中にケガを被った場合に、次の保険金が支払われます。

- ●ケガによる死亡　10万円
- ●ケガによる後遺障害　3千～10万円
- ●ケガによる入院　1日　3,000円
- ●ケガによる通院　1日　2,000円
- ●ケガによる手術　3～12万円

他人に損害を与えたときの補償
第三者賠償

●他人への損害賠償　対人・対物
1事故1億円限度（自己負担額なし）

病気で死亡したときの補償
葬祭費用保険金

葬祭費　10万円まで

やまゆり知的障害児者生活サポート協会（旧やまゆり互助会）☎ 045-314-7716

この制度の詳しいことは、当協会または代理店にご照会下さい。　担当代理店　株式会社JIC　〒163-0023　新宿区西新宿3-2-11新宿三井ビル2号館2F　☎03-5321-3373
引受保険会社　AIU保険会社　〒105-0004　港区新橋5-11-3　新橋住友ビル6F

※平成25年3月1日現在の加入者数は7,325名です。毎月1日付で受け付けておりますので是非ご加入ください。

≪　編集後記　≫

広報誌「地福協」が「育成会かわさき」として発行されます。会員の皆様の協力を頂きながらパワーアップしていきたいと思っています。

広報委員会は、楽しい委員会を合言葉に、より親しまれる広報誌にしたいと頑張ってまいります。

「あれってどうなっているの？」「これってどういうこと？」はあなた一人の「？」では無いと思います。お声を支部役員や広報委員にお聞かせください。みんなで考え、より良い答えを出して行こうではありませんか。

みんなでがんばりましょう！！　よろしくお願いします。

《もくじ》

川崎市育成会　会長新任のごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
福祉大会のお知らせ・役員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
各支部代表者の紹介・各委員会及び委員の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
平成２５年度川崎市関係主要職員の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
研修会報告・・・　5
「川崎市における障害者福祉施設の整備状況について」
「介護者に向けた医療について」
春のレクリエーション報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
「川信ふれあい市場」のお知らせ/「海水浴の集い」のお知らせ
ふれあい製品アゼリア展示即売会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
ある会員のつぶやき
障害者相談支援センター説明会　質疑応答抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
障害者相談支援センター一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
成年後見制度選挙権回復の裁判・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
「あんしんノート」書き方講習会報告とお知らせ
川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
賛助会費/私たちの広場
やまゆり広告・・・１２
編集後記